

# ついていきますか？



## 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は設置から**10年**が交換の目安です！

住宅用火災警報器が古くなると電子部品の寿命や、電池切れなどで火災を感知しなくなる可能性があるため、10年を目安に取り換えましょう。

設置時期を調べるには…

火災警報器を設置したときに記入した「**製造年月**」、または、本体に記載されている「**製造年**」を確認してください。

定期的に作動試験を実施しましょう。

**ボタンを押す**、または**ひもを引いて**作動確認をします。

### 試験方法

#### 正常な場合は？

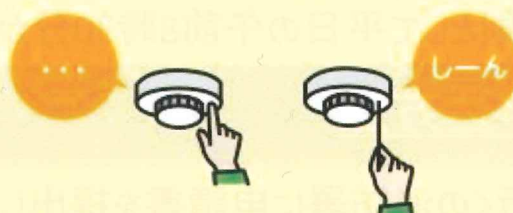
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注) 警報音はメーカーや製品により異なります。

#### 音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



● それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。



どこに取り付けるの？

**寝室**に必要です。寝室が2階にある場合は**階段部分**にも必要になります。

ご自宅に設置されているか、今一度ご確認ください。



平成21年6月1日から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。